

新学部と同系統の学部学科の学生納付金(平成27年度)

1. 北信越地域の大学の学生納付金・・・北信越地域において、留学を義務付けている大学はない。

(単位：円)

所在地	設置形態	大学名	学部	学科	入学定員(人)	入学金	授業料	施設設備費等	実習費等	初年度(1年次)合計
石川		金沢学院大学	文学部	文学科 (2015年改組予定)	130	200,000	730,000	230,000	30,000	1,190,000
		北陸大学	未来創造学部	国際教養学科	100	200,000	900,000	300,000	-300,000	1,100,000
				国際マネジメント	100	200,000	900,000	300,000	-300,000	1,100,000
福井	私立	仁愛大学	人間学部	コミュニケーション学科	95	250,000	670,000	300,000	-	1,220,000
新潟		敬和学園大学	人文学部	英語文化 コミュニケーション学科	60	230,000	690,000	270,000	-	1,190,000
				国際文化学科	80	230,000	690,000	270,000	-	1,190,000
		新潟国際情報大学	国際学部	国際文化学科	100	100,000	675,000	250,000	85,000	1,110,000

2. 首都圏、関西圏で留学を義務付けている(半年以上)大学の学生納付金

①留学先大学の授業料を自大学が負担する大学

(単位：円)

所在地	設置形態	大学名	学部	学科	入学定員(人)	入学金	授業料	施設設備費	実習費等	初年度(1年次)合計
東京	私立	早稲田大学	国際教養学部	国際教養学科	325	200,000	1,166,000	180,000	70,000	1,616,000
		創価大学	国際教養学部	国際教養学科	80	246,000	910,000	203,000	8,000	1,367,000
大阪		関西外国語大学(※)	英語国際学部	英語国際学科	700	250,000	750,000	270,000	-	1,270,000
			英語キャリア学部	英語キャリア学科	120	250,000	750,000	270,000	-	1,270,000
京都		龍谷大学	国際学部 (2015年度開設予定)	グローバル スタディーズ学科	120	200,000	931,000	50,000	130,000	1,311,000

(注) 大学名に(※)の付いている大学は、平成27年度の学生納付金が未掲載だったため、平成26年度の学生納付金を記載している。

②自大学の授業料を免除し、留学先大学の授業料を自己負担する大学

(単位：円)

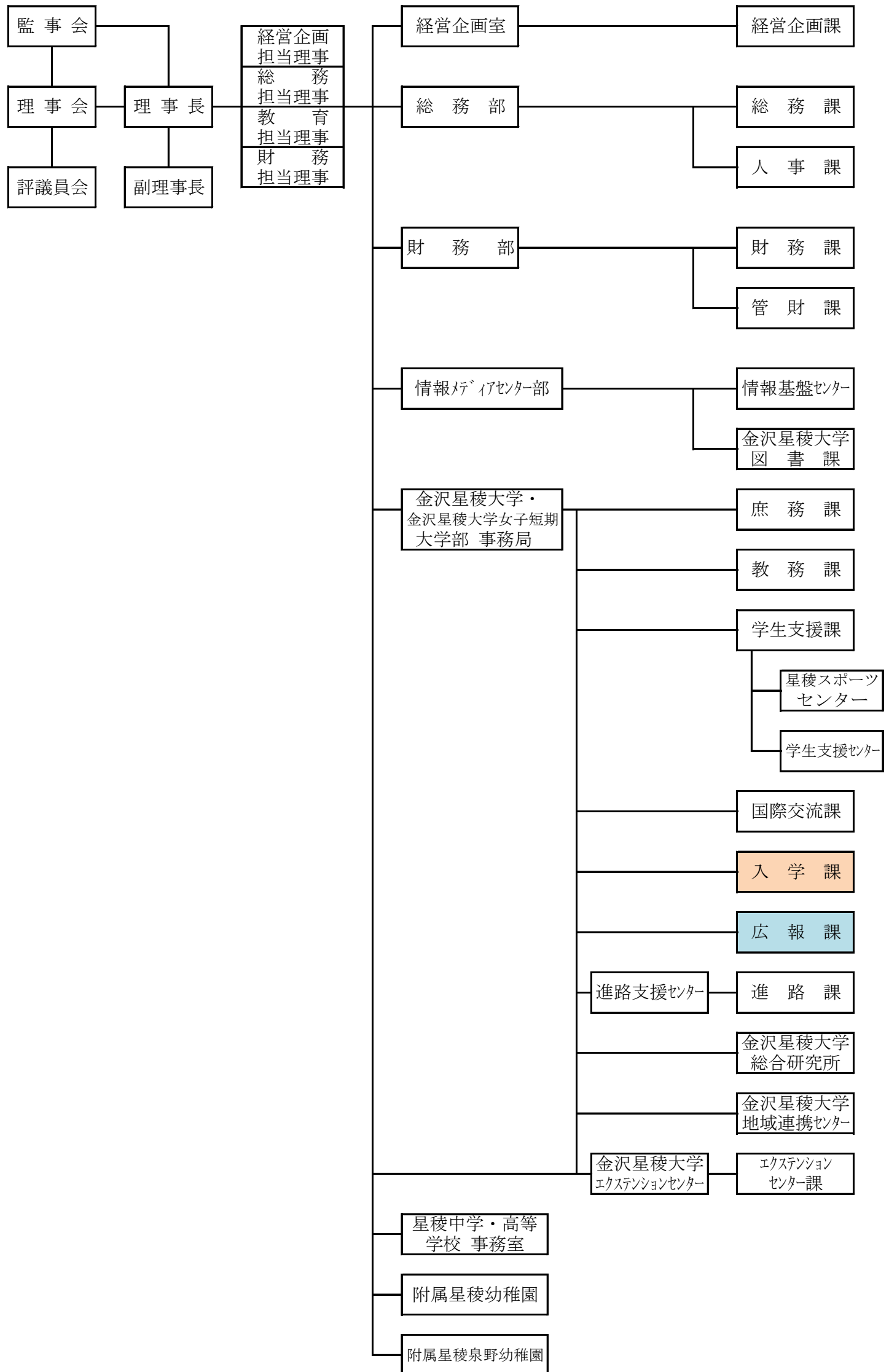
所在地	設置 形態	大学名	学部	学科	入学 定員(人)	入学金	授業料	施設 設備費	実習 費等	初年度 (1年次) 合計
東京	私立	法政大学	国際文化学部	国際文化学科	249	180,000	1,008,000	264,000	38,000	1,490,000
		立教大学	異文化 コミュニケーション学部	異文化 コミュニケーション学科	115	200,000	792,000	286,000	10,000	1,288,000
大阪		関西大学	外国語学部	外国語学科	165	260,000	890,000	270,000	-	1,420,000

3. 既存学部 of 学生納付金

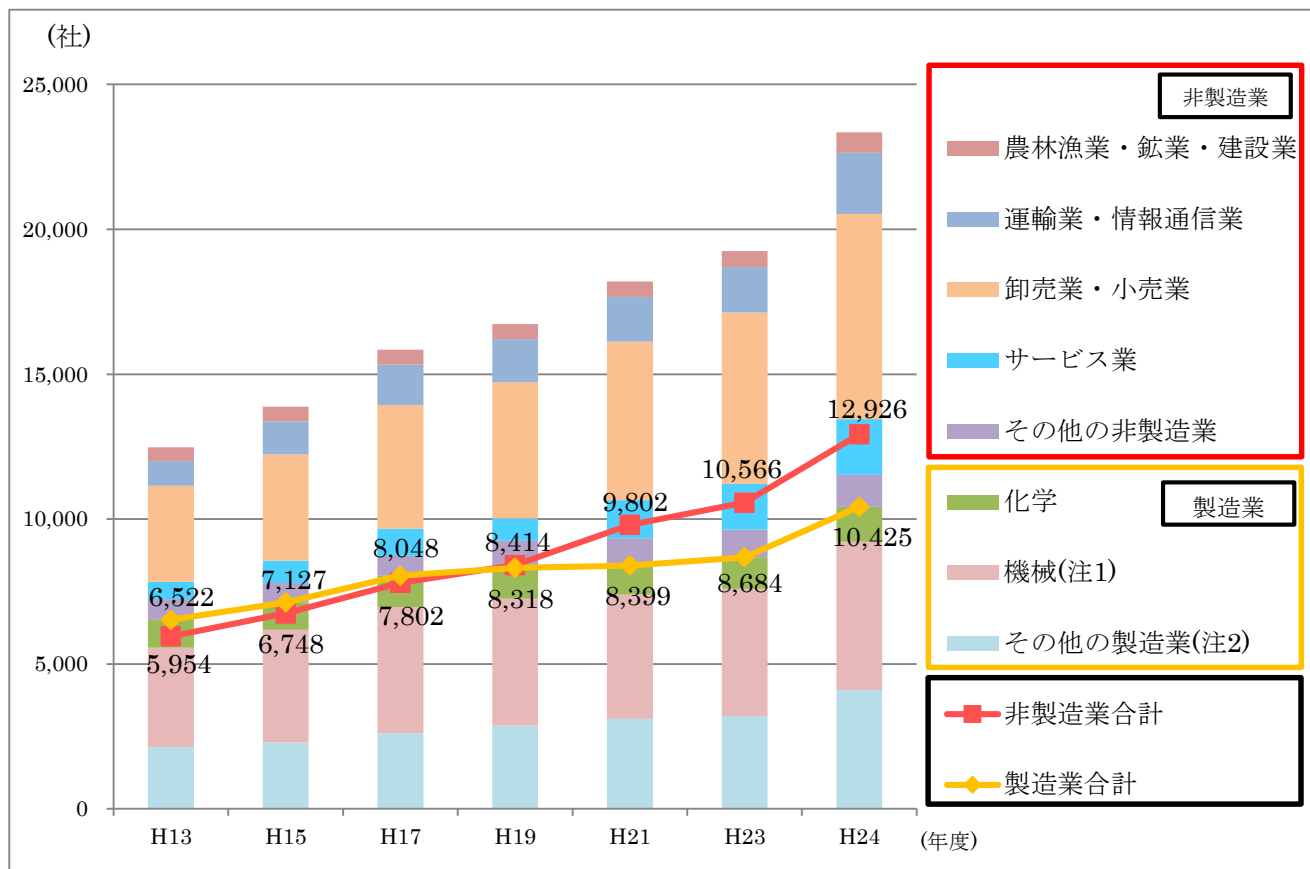
(単位：円)

所在地	設置形態	大学名	学部	学科	入学定員(人)	入学金	授業料	施設設備費	実習費等	初年度(1年次)合計
石川	私立	金沢星稜大学	経済学部	経済学科	230	120,000	660,000	300,000	-	1,080,000
				経営学科	150					
			人間科学部	スポーツ学科	60	120,000	720,000	330,000	-	1,170,000
				こども学科	60					

本学の事務局組織図(平成27年度)



業種別海外現地法人数の推移（全国ベース）



(単位：社)

業種		H13	H15	H17	H19	H21	H23	H24
非製造業	農林漁業・鉱業・建設業	479	507	525	519	527	553	708
	運輸業・情報通信業	850	1,130	1,391	1,495	1,555	1,569	2,108
	卸売業・小売業	3,306	3,672	4,266	4,690	5,461	5,907	7,086
	サービス業	600	772	939	778	1,314	1,587	1,918
	その他の非製造業	719	667	681	932	945	950	1,106
	非製造業計	5,954	6,748	7,802	8,414	9,802	10,566	12,926
製造業	化学	966	952	1,089	1,072	1,001	1,088	1,213
	機械	3,415	3,880	4,344	4,371	4,287	4,386	5,114
	その他の製造業	2,141	2,295	2,615	2,875	3,111	3,210	4,098
	製造業計	6,522	7,127	8,048	8,318	8,399	8,684	10,425
合計		12,476	13,875	15,850	16,732	18,201	19,250	23,351

- (注) 1. 製造業の「機械」の業種：はん用機械、生産用機械、業務用機械、一般機械、電気機械、情報通信機械、輸送機械、精密機械
2. 製造業の「その他の製造業」の業種：食料品、繊維、木材紙パ、石油・石炭、窯業・土石、鉄鋼、非鉄金属、金属製品、その他の製造業
3. 調査期間：各年7月～8月
4. 平成25年度の数値は、平成27年4月前後に掲載予定とのこと。

【経済産業省「海外事業活動基本調査」より作成】

グローバル化への問題点

【産学人材育成パートナーシップグローバル人材育成委員会報告書 2010. 4】より抜粋

(3) グローバルに活躍できる人材育成の必要性

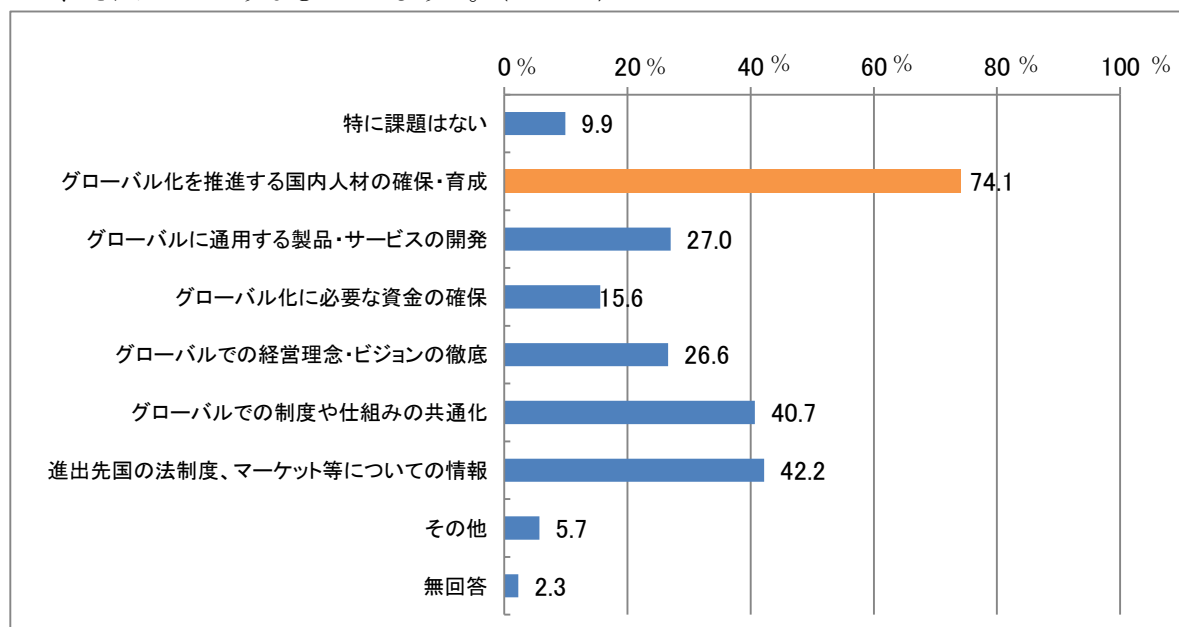
(I) グローバル化を推進する国内人材に対するニーズ

(i) 鍵となる「グローバル化を推進する国内人材」の確保・育成

海外拠点の設置・運営にあたって課題となっているのが、企業のグローバル化を推進する役割を担う国内の人材が不足していることである。実施したアンケート調査によると、海外拠点の設置・運営に当たって直面している課題について、「グローバル化を推進する国内人材の確保・育成」を挙げる割合は、回答企業の約7割となっている。

図表 海外拠点の設置・運営にあたっての課題

海外拠点の設置・運営に際して、貴社が直面されている課題や問題がありますか。
また、それはどのようなものでしょうか。(N : 263)



出所) 経済産業省「グローバル人材育成に関するアンケート調査」

【報告書 20 頁より抜粋】

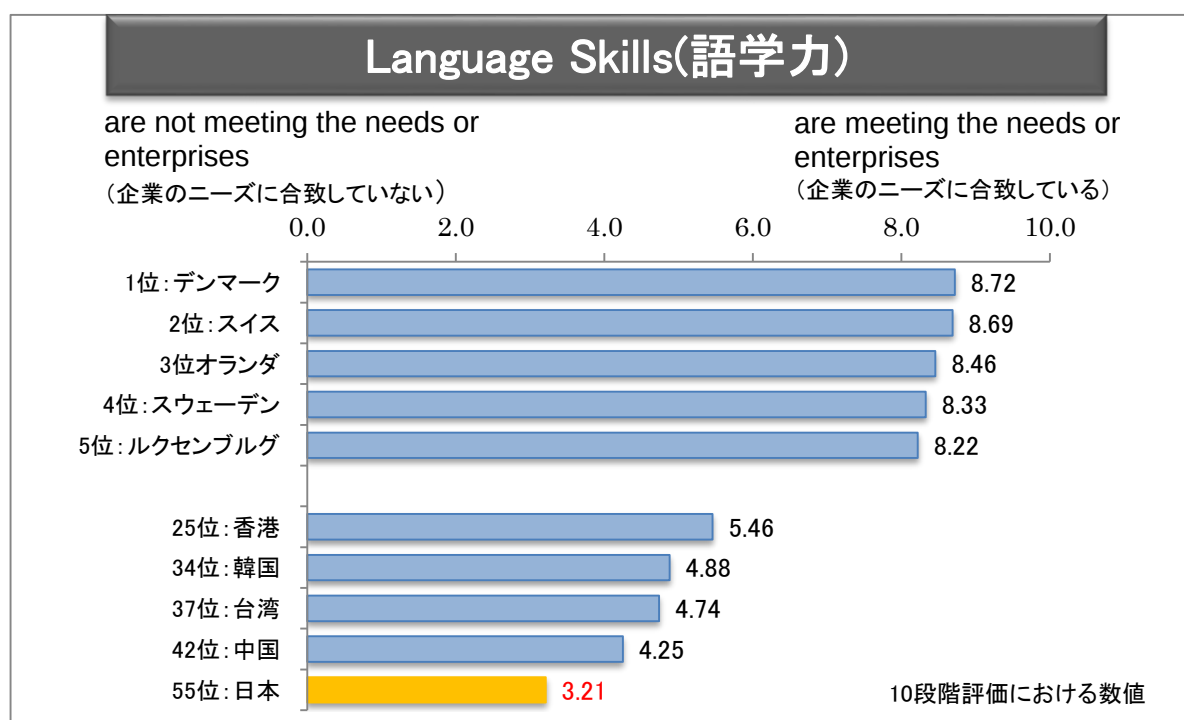
(Ⅱ) グローバル化を支える国内人材の不足

(i) アジア主要国・地域の中でも低水準な日本人の語学力・国際経験

国内採用のグローバル人材の必要性は高まっている一方、日本人の語学力や国際経験についてみると、世界的な評価は決して高くないことが明らかとなっている。

スイスの研究機関である IMD によると、日本人の語学力の企業ニーズへの合致度は調査対象全 57 カ国・地域中 55 位となっている。同じく、留学経験、マネジメント層の国際経験についてもそれぞれ 41 位、52 位とアジア主要国・地域と比較しても大きく出遅れている。グローバルに活躍する上で、必要不可欠と言える語学力や国際経験において、日本人は他のアジア主要国・地域と比べ低い水準と評価されている。

図表 日本人の語学力・国際経験の比較



出所) IMD World Competitiveness Yearbook 2009

【報告書 24 頁～25 頁より抜粋】

6. 「グローバル人材」の育成に関する各主体の役割

グローバル化の進展と日本の現状を踏まえると、「グローバル人材」の育成は、日本社会全体が抱える課題である。日本が国際競争力を高め、持続的に発展していくためには、学校教育だけではなく、社会全体で育成する仕組み作りを拡大すべきである。すなわち、産業界、大学、政府の三者が相互に連携して、産業界や地域社会のリソース（ヒト、モノ、カネ）と学校のリソースを最大限に活用し、「グローバル人材」を育成することが必要である。

【報告書 37 頁より抜粋】

産業界の求めるグローバル人材

1. 『産業界の求める人材像と大学教育に関する期待のアンケート結果【概要版】』

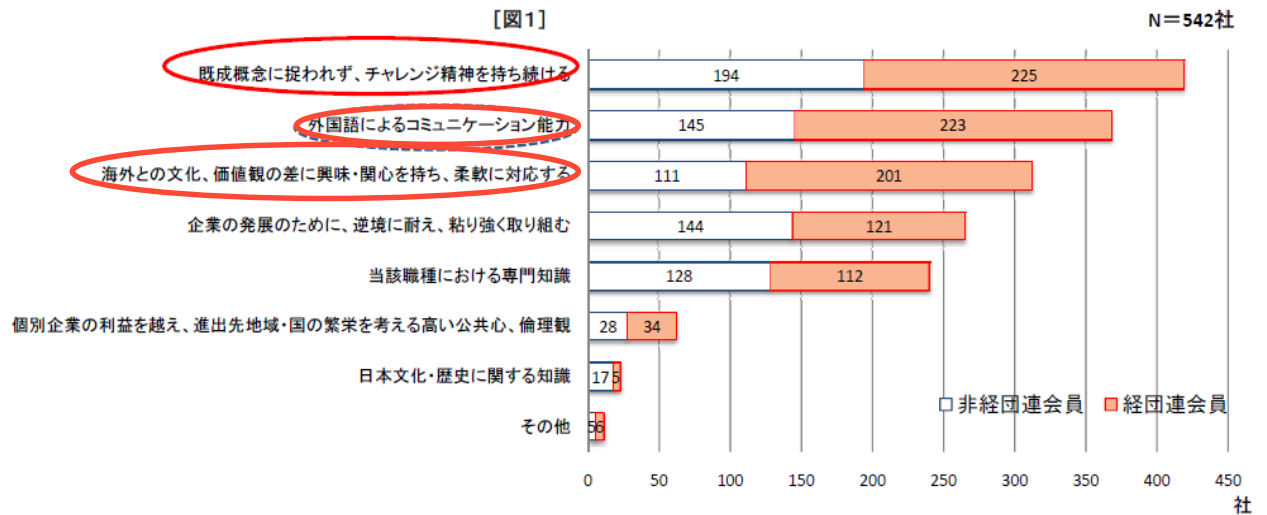
2011 年 1 月 18 日より抜粋

【(社) 日本経済団体連合会より】

第 I 部: グローバル人材の姿、グローバル人材育成に向けた取り組み

グローバルに活躍する日本人の人材に求められる
素質、知識・能力(複数回答)

- 最も多かったのは「既成概念に捉われず、チャレンジ精神を持ち続けること」、ついで「外国語によるコミュニケーション能力」。
- 非経団連会員では「企業の発展のために、逆境に耐え、粘り強く取り組む」を指摘する回答も多い。



(注) 調査期間平成 22 年 9 月 15 日～11 月 1 日

2. 『グローバル人材育成推進会議 中間まとめ』(2011 年(平成 23 年)6 月 22 日)より抜粋

【グローバル人材育成推進会議より】

○我が国がこれからのグローバル化した世界の経済・社会の中にあって育成・活用していくべき「グローバル人材」の概念を整理すると、概ね、以下のような要素が含まれるものと考えられる。

要素Ⅰ：語学力・コミュニケーション能力要素Ⅱ：主体性・積極性、チャレンジ精神、協調性・柔軟性、責任感・使命感要素Ⅲ：異文化に対する理解と日本人としてのアイデンティティー

海外展開に必要な人材育成

【北陸 AJEC「北陸地域における企業活動の国際化に関する調査」平成 25 年 2 月より抜粋】

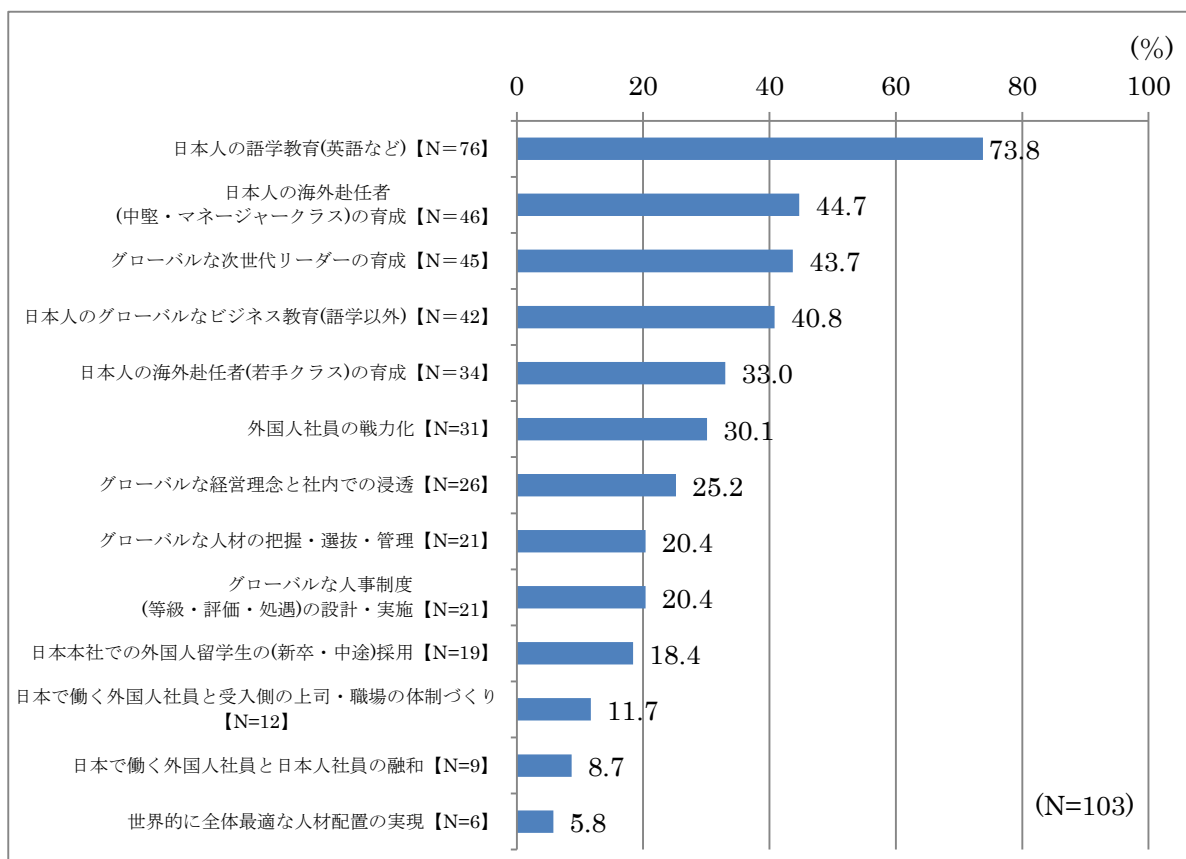
問 8. 貴社が海外展開をするに際して、どのような人材(育成)が必要ですか。あてはまるものすべてに○印を付けてください。

◆海外展開に際して必要な人材(育成)

国際化に必要な人材に対する項目では、回答割合の高い上位 5 項目を高い順にみると、「日本人の語学教育（英語など）」(73.8%)、次いで「日本人の海外赴任者（中堅・マネージャークラス）の育成」(44.7%)、「グローバルな次世代リーダーの育成」(43.7%)、「日本人のグローバルなビジネス教育（語学以外）」(40.8%)、「日本人の海外赴任者（若手クラス）の育成」(33.0%)となる。次いで、「外国人社員の戦力化」(30.1)が続く。

この結果をみる限り、外国人の採用よりもまずは語学力やマネジメント力を含めた日本人社員の国際化に際しての能力強化、戦力化を掲げる姿勢が強く窺える結果が得られた。

国際化に必要な人材(複数回答)

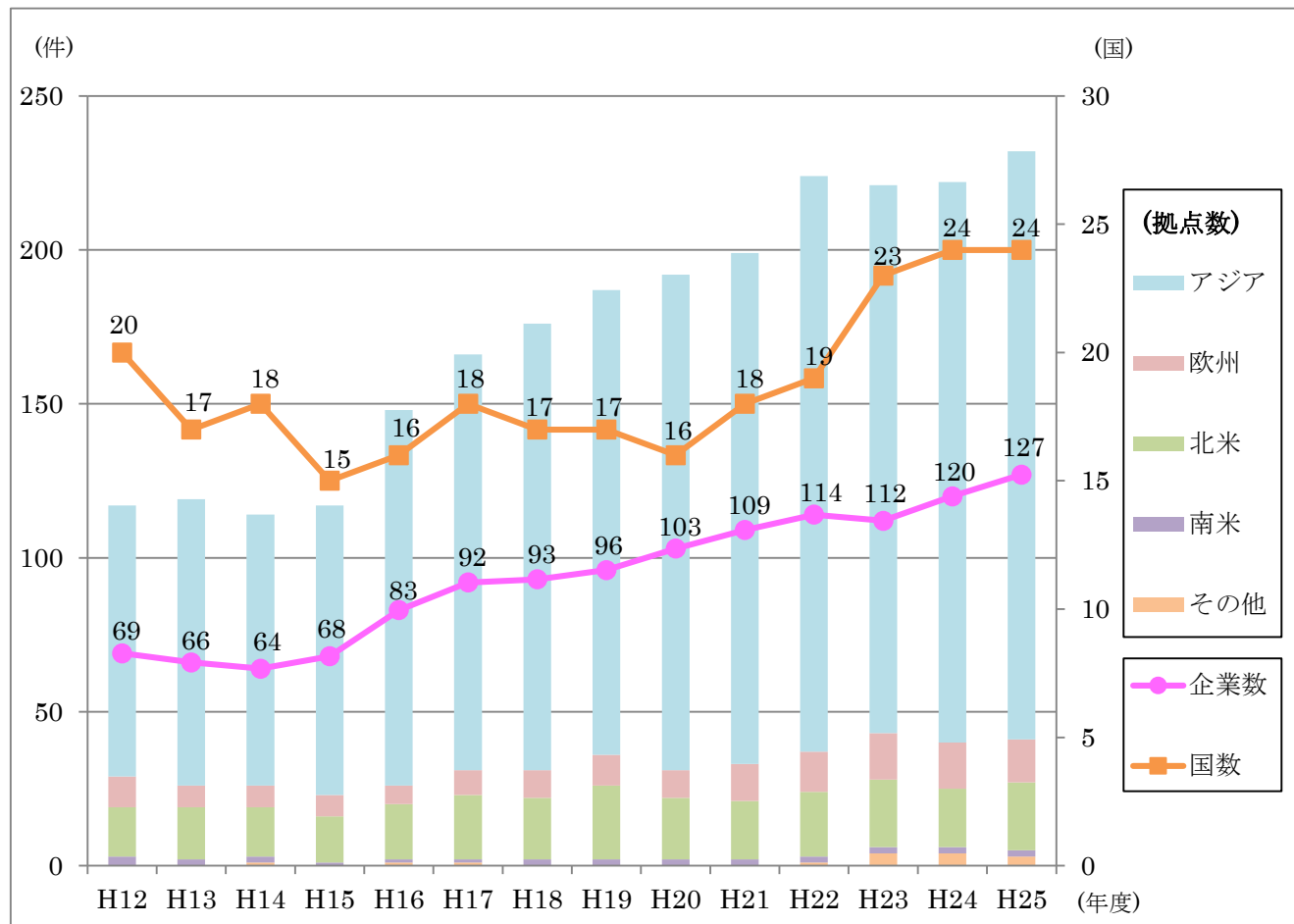


(注) 調査期間：平成 24 年 8 月～12 月

■北陸 AJEC(北陸環日本海経済交流促進協議会)について

北陸地域の産業界、大学、並びに富山県・石川県・福井県の産・官・学が一体となって対岸諸国との経済交流を促進し、北陸地域をはじめとする我が国の経済発展に資することを目的として 1992 年に設立。主に、国内外の関係諸機関から広く情報を収集、整理、分析し、情報機関誌の発行を行っている。また、国内外の研究機関等と連携し、セミナー等の開催を通じて環日本海経済交流への理解を広めている。

石川県内企業の海外進出動向



海外進出企業数及び国数

区分	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25
企業数	69	66	64	68	83	92	93	96	103	109	114	112	120	127
国 数	20	17	18	15	16	18	17	17	16	18	19	23	24	24

海外拠点数

地域	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25
アジア	88	93	88	94	122	135	145	151	161	166	187	178	182	191
欧州	10	7	7	7	6	8	9	10	9	12	13	15	15	14
北米	16	17	16	15	18	21	20	24	20	19	21	22	19	22
南米	3	2	2	1	1	1	2	2	2	2	2	2	2	2
その他	-	-	1	-	1	1	-	-	-	-	1	4	4	3
計	117	119	114	117	148	166	176	187	192	199	224	221	222	232

(注) 1. その他の国名：ロシア・東欧、オセアニア、アフリカ、中東

2. 調査期間：各年 1 月～12 月

3. 平成 26 年度報告書は平成 27 年 4 月初旬～中旬頃にホームページ掲載予定とのこと。

【出典：石川県貿易・海外投資活動実態調査報告書 作成：石川県、ジェトロ金沢】より抜粋し作成

事業所アンケート調査票の回収状況

(単位:社)

県 名	送付企業数	回収企業数	回収率
石川県	1,084	332	30.6%
富山県	2,278	342	15.0%
福井県	845	140	16.6%
新潟県	242	43	17.8%
長野県	206	28	13.6%
東京都	85	19	22.4%
大阪府	29	2	6.9%
愛知県	57	20	35.1%
その他	7	7	100.0%
不 明	1	1	100.0%
合 計	4,834	934	19.3%

(注) 回収率＝回収企業数÷送付企業数

事業所アンケート調査結果

平成27年1月22日

問1 所在地

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	石川県	332	35.5
2	富山県	342	36.6
3	福井県	140	15.0
4	新潟県	43	4.6
5	長野県	28	3.0
6	東京都	19	2.0
7	大阪府	2	0.2
8	愛知県	20	2.1
9	その他	7	0.7
	不明	1	0.1
	合計	934	100

問2 業種

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	農業・林業	5	0.5
2	漁業	1	0.1
3	鉱業・採石業・砂利採取業	3	0.3
4	建設業	99	10.6
5	製造業	293	31.4
6	電気・ガス・熱供給・水道業	10	1.1
7	情報通信業	22	2.4
8	運輸業・郵便業	19	2.0
9	卸売業・小売業	280	30.0
10	金融業・保険業	27	2.9
11	不動産業・物品賃貸業	14	1.5
12	学術研究・専門技術サービス業	5	0.5
13	宿泊・飲食サービス業	23	2.5
14	生活関連サービス業・娯楽業	12	1.3
15	教育・学習支援業	6	0.6
16	医療・福祉	13	1.4
17	複合サービス業	15	1.6
18	サービス業(他に分類されないもの)	58	6.2
19	公務	2	0.2
20	その他	23	2.5
	不明	4	0.4
	合計	934	100

問3 今後の人材採用の意向

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	毎年採用していくと思う	314	33.6
2	できれば、毎年採用していきたいと思う	136	14.6
3	毎年ではないが、ある程度は採用していきたいと思う	128	13.7
4	増員が必要になった場合に、採用を考える	165	17.7
5	欠員が出た場合に、採用を考える	116	12.4
6	当面、採用は行わないと思う	73	7.8
	不明	2	0.2
	合計	934	100

問4 国際部門(海外事業部)の有無

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	ある	199	21.3
2	ない	734	78.6
	不明	1	0.1
	合計	934	100

問5 今後の海外事業についての展望

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	件数合計(下段:%)
1	ぜひ拡大したい	151	16.2	346
2	できれば拡大したい	195	20.9	37.1
3	現状維持	165	17.7	-
4	考えていない	421	45.1	-
	不明	2	0.2	-
	合計	934	100	-

問6 異文化理解力・英語力を持つ人材への需要

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	件数合計(下段:%)
1	とても多くなる	87	9.3	462
2	多くなる	375	40.1	49.4
3	現状どおり	273	29.2	-
4	少なくなる	5	0.5	-
5	とても少なくなる	2	0.2	-
6	わからない	189	20.2	-
	不明	3	0.3	-
	合計	934	100	-

問7 採用時に重視する事項

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	リーダーシップがあること	80	8.6
2	チャレンジ精神があること	337	36.1
3	主体性・積極性があること	419	44.9
4	協調性・柔軟性があること	428	45.8
5	責任感・使命感があること	461	49.4
6	問題解決能力があること	175	18.7
7	コミュニケーション能力があること	500	53.5
8	外国語能力があること	27	2.9
9	倫理観があること	52	5.6
10	創造力があること	87	9.3
11	実行力があること	194	20.8
12	その他	20	2.1
	不明	1	0.1
	合計	934	100

問8 グローバル人材に求められる素質・知識・能力

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	国際語(英語)でのコミュニケーション能力があること	497	53.2
2	日本文化、異文化を理解する能力があること	251	26.9
3	日本人としてのアイデンティティがあること	130	13.9
4	リーダーシップがあること	81	8.7
5	チャレンジ精神があること	304	32.5
6	主体性・積極性があること	251	26.9
7	協調性・柔軟性があること	197	21.1
8	責任感・使命感があること	261	27.9
9	問題解決能力があること	183	19.6
10	対応能力があること	337	36.1
11	創造力があること	86	9.2
12	幅広い教養と深い専門性があること	109	11.7
13	社会貢献意識があること	49	5.2
14	その他	7	0.7
	不明	9	1.0
	合計	934	100

問9 金沢星稜大学人文学部国際文化学科の社会的必要性

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	件数合計(下段:%)
1	社会的必要性を感じる	293	31.4	612
2	一応、社会的必要性を感じる	319	34.2	65.6
3	あまり必要性を感じない	35	3.7	-
4	必要性はない	8	0.9	-
5	わからない	275	29.4	-
6	その他	1	0.1	-
	不明	3	0.3	-
	合計	934	100	-

問10 金沢星稜大学人文学部国際文化学科に対する興味・関心

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	件数合計(下段:%)
1	興味・関心がある	103	11.0	478
2	やや興味・関心がある	375	40.1	51.1
3	興味・関心がない	153	16.4	-
4	わからない	294	31.5	-
	不明	9	1.0	-
	合計	934	100	-

問11 金沢星稜大学人文学部国際文化学科卒業生に対する採用意向

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	件数合計(下段:%)
1	採用したい	89	9.5	314
2	一応採用を考える	225	24.1	33.6
3	採用は考えない	192	20.6	-
4	わからない	411	44.0	-
	不明	17	1.8	-
	合計	934	100	-

問12 金沢星稜大学人文学部国際文化学科卒業生に対する採用想定人数

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	1人	231	24.7
2	2人	35	3.7
3	3人	22	2.4
4	4人	2	0.2
5	5～6人	8	0.9
6	7～9人	1	0.1
7	10人以上	6	0.6
	不明	9	1.0
	非該当	620	66.4
	合計	934	100

(注) 問12についての採用想定人数は「カテゴリ×件数」で算出している。
また、カテゴリの5～6人は5人、7～9人は7人、10人以上は10人で算出している。

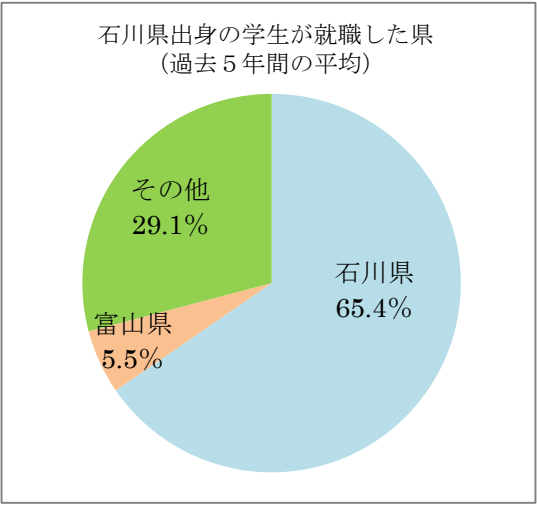
【アンケート集計結果に基づく採用想定人数】

問12 のアンケート集計結果に基づき、本学側で採用想定人数を算出した。

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	採用想定人数
1	1人	231	24.7	231
2	2人	35	3.7	70
3	3人	22	2.4	66
4	4人	2	0.2	8
5	5～6人	8	0.9	40
6	7～9人	1	0.1	7
7	10人以上	6	0.6	60
	不明	9	1.0	-
	非該当	620	66.4	-
	合計	934	100	482

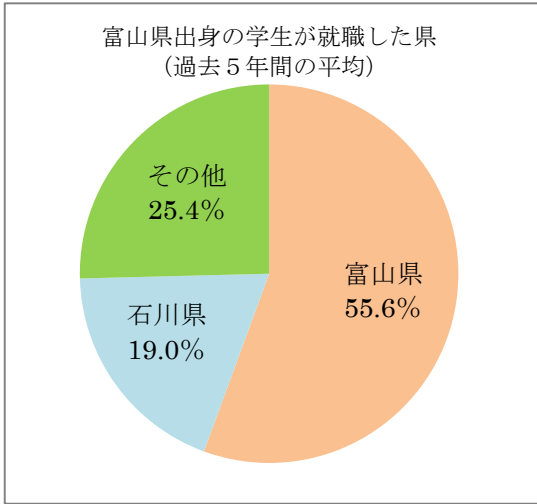
出身県の企業に就職した学生数

(単位：人)



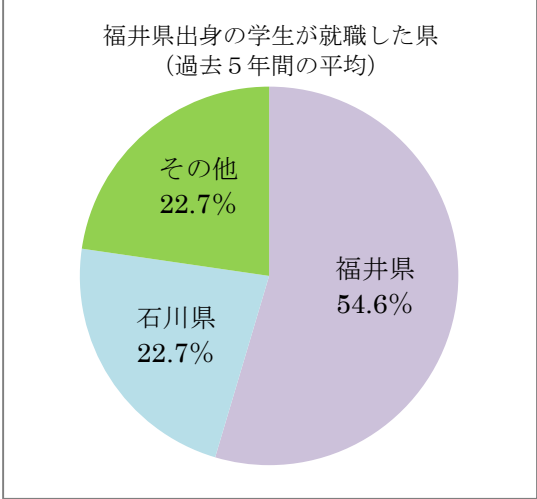
区 分	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	5か年平均
石川県出身内定者	161	186	242	296	283	234
自県内就職者	97	121	168	193	184	153
自県内就職率	60.2 %	65.0 %	69.4 %	65.2 %	65.0 %	65.4 %
富山県への就職者	18	10	16	14	8	13
就職率	11.2 %	5.4 %	6.6 %	4.7 %	2.8 %	5.5 %
上記以外への就職者	46	55	58	89	91	68
就職率	28.6 %	29.6 %	24.0 %	30.1 %	32.2 %	29.1 %

(単位：人)



区 分	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	5か年平均
富山県出身内定者	45	54	49	73	96	63
自県内就職者	25	24	35	39	52	35
自県内就職率	55.6 %	44.5 %	71.4 %	53.4 %	54.2 %	55.6 %
石川県企業への就職者	11	10	0	13	25	12
就職率	24.4 %	18.5 %	0.0 %	17.8 %	26.0 %	19.0 %
上記以外への就職者	9	20	14	21	19	16
就職率	20.0 %	37.0 %	28.6 %	28.8 %	19.8 %	25.4 %

(単位：人)



区 分	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	5か年平均
福井県出身内定者	21	25	26	22	19	22
自県内就職者	12	14	14	11	9	12
自県内就職率	57.1 %	56.0 %	53.8 %	50.0 %	47.4 %	54.6 %
石川県企業への就職者	6	5	6	6	4	5
就職率	28.6 %	20.0 %	23.1 %	27.3 %	21.0 %	22.7 %
上記以外への就職者	3	6	6	5	6	5
就職率	14.3 %	24.0 %	23.1 %	22.7 %	31.6 %	22.7 %

事業所アンケート調査票

＜金沢星稜大学「人文学部 国際文化学科（仮称）」に関する調査票＞

問1 貴事業所の所在地についてお聞きます。次の中から該当する番号を**1つ**お選びください。 【回答欄】

- 1 石川県 3 福井県 5 長野県 7 大阪府 9 その他（ ）
2 富山県 4 新潟県 6 東京都 8 愛知県

問2 貴事業所の業種についてお聞きます。次の中から最も当てはまる番号を**1つ**お選びください。

- 1 農業・林業 11 不動産業・物品賃貸業
2 漁業 12 学術研究・専門技術サービス業
3 鉱業・採石業・砂利採取業 13 宿泊・飲食サービス業
4 建設業 14 生活関連サービス業・娯楽業
5 製造業 15 教育・学習支援業
6 電気・ガス・熱供給・水道業 16 医療・福祉
7 情報通信業 17 複合サービス業
8 運輸業・郵便業 18 サービス業（他に分類されないもの）
9 卸売業・小売業 19 公務
10 金融業・保険業 20 その他（具体的に ）

問3 貴事業所における今後の人材採用について、どのようにお考えですか。
該当する番号を**1つ**お選びください。

- 1 毎年採用していくと思う
2 できれば、毎年採用していきたいと思う
3 毎年ではないが、ある程度は採用していきたいと思う
4 増員が必要になった場合に、採用を考える
5 欠員が出た場合に、採用を考える
6 当面、採用は行わないと思う

問4 貴事業所では現在、国際部門（海外事業部）はありますか。

- 1 ある 2 ない

問5 貴事業所では、今後の海外事業展開や外国企業等との取引、外国人を対象としたビジネスについて、どのようにお考えですか。該当する番号を**1つ**お選びください。

- 1 ぜひ拡大したい 3 現状維持
2 できれば拡大したい 4 考えていない

問6 貴事業所では、国際的な視野をもち異文化理解ができ、英語力を備えた人材の需要について、今後どのようになるとお考えですか。該当する番号を**1つ**お選びください。

- 1 とても多くなる 4 少なくなる
2 多くなる 5 とても少なくなる
3 現状どおり 6 わからない

問7 貴事業所では、人材を採用する際に、どのようなことを重視していますか。
該当する番号を**3つまで**お選びください。

- 1 リーダーシップがあること 7 コミュニケーション能力があること
2 チャレンジ精神があること 8 外国語能力があること
3 主体性・積極性があること 9 倫理観があること
4 協調性・柔軟性があること 10 創造力があること
5 責任感・使命感があること 11 実行力があること
6 問題解決能力があること 12 その他（ ）

問8 貴事業所では、グローバルに活躍する人材に求められる素質、知識、能力について、何が必要だと思われますか。該当する番号を**3つまで**お選びください。

- | | |
|-----------------------------|---------------------|
| 1 国際語(英語)でのコミュニケーション能力があること | 8 責任感・使命感があること |
| 2 日本文化、異文化を理解する能力があること | 9 問題解決能力があること |
| 3 日本人としてのアイデンティティがあること | 10 対応能力があること |
| 4 リーダーシップがあること | 11 創造力があること |
| 5 チャレンジ精神があること | 12 幅広い教養と深い専門性があること |
| 6 主体性・積極性があること | 13 社会貢献意識があること |
| 7 協調性・柔軟性があること | 14 その他 () |

【現在設置計画中の金沢星稜大学「人文学部 国際文化学科（仮称）」についておたずねします。】

問9 「人文学部 国際文化学科（仮称）」の社会的な必要性を感じますか。該当する番号を**1つ**お選びください。

- | | |
|-----------------|------------|
| 1 社会的必要性を感じる | 4 必要性はない |
| 2 一応、社会的必要性を感じる | 5 わからない |
| 3 あまり必要性を感じない | 6 その他（具体的に |

--

問10 「人文学部 国際文化学科（仮称）」について、どの程度、興味や関心があるかおたずねします。該当する番号を**1つ**お選びください。

- | | |
|--------------|------------|
| 1 興味・関心がある | 3 興味・関心がない |
| 2 やや興味・関心がある | 4 わからない |

--

問11 国際語(英語)活用能力、異文化理解力、教養力、問題解決力を備えた、「人文学部 国際文化学科（仮称）」の卒業生の将来的な採用意向についておたずねします。該当する番号を**1つ**お選びください。

- | | | | |
|------------|-------------------|-----------|-------------------|
| 1 採用したい | } 問12へ
お進みください | 3 採用は考えない | } 問13へ
お進みください |
| 2 一応採用を考える | | 4 わからない | |

--

問12 問11で、「採用したい」「一応採用を考える」と回答された方におたずねします。採用を考える場合、毎年何人程度の採用が想定されますか。該当する番号を**1つ**お選びください。

- | | | | |
|------|------|--------|---------|
| 1 1人 | 3 3人 | 5 5～6人 | 7 10人以上 |
| 2 2人 | 4 4人 | 6 7～9人 | |

--

問13 「人文学部 国際文化学科（仮称）」について、ご意見等がありましたら、ぜひお聞かせください。

--

*** これでアンケートは終わりです。ご協力ありがとうございました。 ***